

平成30年度射水市環境審議会の概要

1 開催日時

平成30年11月21日（水）

会議：午後1時30分から午後3時まで

2 場所

会議：射水市役所 4階 会議室401

3 出席者

渡辺 委員（富山県立大学工学部環境・社会基盤工学科教授）

中村 委員（富山県立大学工学部環境・社会基盤工学科講師）

久郷 委員（富山気象台次長）

浦田 委員（富山県環境科学センター所長）

竹内 委員（富山県高岡厚生センター射水支所長）

善光 委員（いみず地球温暖化防止活動推進員ネットワーク副会長）

中村 委員（射水市企業団地連絡協議会長）

山本 委員（射水市婦人会理事）

尾山 委員（新湊漁業協同組合代表理事組合長）〔代理出席：西本 参事〕

松丘 委員（射水市環境衛生協議会長）

前川 委員（公募委員）

4 欠席者

舟木 委員

寺越 委員

5 配布資料

平成29年度射水市の環境概要

6 議題

(1) 会長及び副会長の選出

委員の互選により、県立大学の渡辺委員が会長に就任し、渡辺会長の指名により富山県立大学の中村委員が副会長に就任した。

(2) 平成29年度射水市の環境概要について

(3) その他

環境全般について質疑応答及び意見交換を行った。

(4) 閉会

7 質疑応答及び意見の概要

- (委員) 資料中の数値が天候に影響されるならば、環境概要に水温を入れることは出来ないか。
- (事務局) 来年度から水温を標記する。
- (委員) 下条川の大腸菌測定値が環境基準より以前から越えているがどう考えているのか。
- (事務局) 昨年度の環境概要でも大腸菌については超えていたと記憶している。水温や天気の関係もあるが最近野生動物が増えてきている。下条川の水質に直結するとは思わないが、少なからず影響はあると考えている。
- (委員) 測定日の天候はどのようになっているのか
- (事務局) 測定日の天候は原則晴れの日を選択している。
- (委員) 環境概要は射水市の実態もしくは射水市の取組みの報告であるのか、また、施策でもないのか。
- (事務局) 現況の報告である。
- (委員) 地球温暖化について射水市内で取り組んでいることは何か。
- (事務局) 昨年度策定した第2次環境基本計画でも電気自動車の充電器設置数を目標として出しているが、市で更なる設置は限界がある。今後民間が、国の補助を受けながら設置していくものと思っている。設置台数については、今後把握していきたいと考えている。
- なお、電気自動車購入の補助は今年度で打ち切り、来年度以降は新しい事業を考えている。また、第2次環境基本計画の進捗管理指標の中で、電気自動車充電器設置箇所もそうだが、地球温暖化対策では5点を指標として挙げている。それらも含めて各進捗状況をお知らせしていくことと考えている。
- (委員) 新聞でも拝見したが、漁業関係者が植林活動を行っているが、射水市としてどうしていかれるのかお聞きしたい。
- (事務局) 漁業の関係者が植林活動していることは大変良い事であり進めていただき、市としても応援して参りたい。
- (事務局) 市の取組みとしては、集めていただいた海岸漂着ごみの回収や処分をお手伝いしている。なお、10月末時点で約200トン処分している。
- (委員) 底網では大きいものは引っかかり回収はできるが、小さいものは網に入らない。何とかプラスチックについて対策を取ってほしいものだ。
- (事務局) 環境省では自然分解して無害になるバイオプラスチックの開発にも力を入れている
- (委員) 環境概要の22ページのグラフについて、大気は二酸化窒素、二酸化硫黄は減ってきているのは分かるのだが、光化学オキシダントは、増加なのか横ばいで見ればいいのか。

- (委員) 光化学オキシダントについては横ばいである。
- (委員) オキシダントについては発生しやすい年がある。太平洋高気圧が張り出し天気も続き気温も高い状況だと数値は上がりやすい。
- (委員) 内川について、現在、街づくりの中で浄化対策もしっかり行っているが、水域類型でCとなっている。どうしてレベルが低いのか、将来的に見直しが必要ではないかと感じている。
- (事務局) 河川の類型は県で定めている。上流のほうはAであり下流にいくに従ってCとなっている。市では類型は決めることはできない。
- (委員) 昔に比べ水はきれいである。内川が浄化浚渫したのはいつ頃か。
- (事務局) 昭和62年頃に一度庄川のポンプ場から取水し、内川に流してみたものの効果が現れず、再度上流側から取り直し、流す場所を変えたことで効果が現れた。
- (委員) 廃プラの問題について、私自身、六渡寺海岸に年3回ほど清掃活動に参加している。清掃していると廃プラの細かい粒子が沢山海岸に漂着している。新聞では廃プラの粒子を魚が食べて、そしてその魚を人間が食べるといったことが記事に書かれていた。清掃活動を通して、なるべく廃プラを取り除いていきたいと考えている。海水に溶け込んでいる廃プラのデータはないのか。
- (事務局) 指標となるような明確な基準が設けられていないので把握していない。問題であるという認識はある。
- (委員) ガラスはどのように再生利用されているのか射水市の実態を知りたい。
- (事務局) 分別回収したものは、業者が引き取り再生利用している。
- (委員) 市の啓発活動について伺いたい。いろんな問題を解決するにあたって、われわれの年代であっても、山や海がどうなっているのか自分自身で確かめるのがいいのかもしれないが、皆さん忙しくてそこまで手が回らないと思われる。そこで市が率先してやっていただくか市がいろんなことに協力して啓発活動していただくことが必要だろうし、次の世代の子どもたちが教育されて、自然について深く学んでもらい、そこから環境問題を考えてもらう機会を作ってもらうことも大切だと思うが、今現在の取組み状況としては、子どもたちに、どういったことを行っているのか。
- (事務局) いみず地球温暖化防止活動推進委員ネットワークの皆さんにお願いし、射水市内の小学校4年生を対象とした、環境問題に取り組んでいただく「環境チャレンジ10」という名称の活動をしている。これは富山県でも行っており、富山県が行っている学校と、それ以外の学校については、射水市が依頼し、同じ取り組みをお願いしている。その中には、地球全体の大きな問題から、個々が自宅で取り組める問題がある。そういった取り組みをどんどん広めていくことで啓発を図っている。
- (委員) 県の3R運動について、市は何か行っているのか

- (事務局) 射水市では食ロス問題を取り上げて推進している。また、リサイクルの面では、今後、市民の協力も頂きながら蛍光灯等の回収のルール作りが必要だと考えている。
- (委員) 市の基本条例で、市長が環境の取組みや環境の施策を公表しなければならないことになっているが、この部分と環境審議会の環境概要の関係を教えてほしい。
- (委員) 射水市の環境概要はホームページや広報には載せてはいないのか。
- (事務局) 環境概要については、審議会終了後にホームページに掲載している。
- (委員) 市として年度ごとに力を入れて行っている施策効果の現れは、環境基本計画にあたるのか。また、環境概要と環境基本計画に基づいた市の施策は別々になるか不明だが、一体として環境基本計画の施策が報告になるのか。
- (事務局) 環境基本計画の進捗管理指標がそれにあたると思われる。それがどのように進んでいくのか見極めたい。
- (委員) 毎年度公表されている環境概要もそうだが、第2次環境基本計画の進捗管理指標は毎年あがってくるものなのか。
- (事務局) 毎年把握し、報告させていただく。